

平成23年度 地域力向上事業 市民提案による住みよい地域づくり助成事業 事業評価一覧

件数	総事業費	市執行額
13件	8,194,795	3,375,000

単位：円

事業名	提案者・事業実施者	事業内容	事業効果	事業実施状況	総事業費(補助金額)	事後評価
1 北区子ども太鼓交流事業	北区子供太鼓交流会	① 研修交流会を開催し、技術の向上や会員相互の融和を図る。 ② 福祉施設等の訪問事業 ③ 北区内のイベントなどに参加(派遣)し、事業の推進を図る。	① 合同の交流会事業の開催により、北区内子どもたちの交流が図られる。 ② 福祉施設等への積極的な訪問により、地域のコミュニティづくりや子どもたちへの福祉に関する意識向上が図られる。 ③ 和太鼓をとおして、生涯学習の振興が図られる。	1 研修交流会の開催 ① 北区子供太鼓技術研修会 加盟4団体が、外部講師による技術向上のための研修会を行った。 8月20日開催、於：みをつくし文化センター、参加子供60人、大人48人 ② 北区子供太鼓交流会の開催 加盟4団体が、合同演奏会による交流を行った。 9月23日開催、於：三ヶ日文化ホール、参加子供60人、大人46人 2 福祉施設等訪問事業 加盟4団体が、各1回ずつ福祉施設を訪問し、演奏を行った。 3 イベント等派遣事業 北区内の主要なイベントに加盟団体を派遣し、演奏を行った。 三幸町秋まつり、三ヶ日みかんの里まつり、いなさ人形劇まつり、北区Deまつり 等	1,253,380 (500,000)	区内の子どもたちの健全育成はもとより、地域間交流や区内の一体感の醸成につながったものと評価でき、事業の継続と新たな会員や団体等の募集による更なる発展を期待する。 事業費のほとんどは和太鼓等の運搬車両の借上げ経費であるが、団体の主な構成員は子どもであるため、新たな自主財源の確保が求められる。
2 北区女性団体連絡協議会(きたっこ)の活動	北区女性団体連絡協議会	① 北区内の43女性団体の現状分析 ② 北区くらしやすいまちづくり組織との連携・協働 ③ 人材育成と組織の強化 ④ 連携・協働事業の実施 ⑤ NPO法人の調査研究	北区内の市民活動団体の会員の高齢化や、若い世代の新入会員不足、地域づくりへの意欲低迷という現状を緩和する。 ① 各団体の課題の明確化による地域との関わりや連携・協働の意識の向上。 ② 他組織との連携・協働態勢の追及による北区の一体感の醸成。 ③ 他団体との連携・協働による人材・財源不足の緩和と意欲向上。 ④ 団体の自立意識が芽生える。	1 北区内の43女性団体の現状分析事業 会員の意識・財源・防災意識・市が行う機構改革への意識調査を行い、課題を明確化した。 2 北区くらしやすいまちづくり組織との連携・協働事業 ① 情報誌「北区まちネット通信」の発行 ② 研修会「持続可能なまちづくり」の開催・案内 等 3 人材育成・組織強化事業 合意形成、地域交流、連携・協働の観点による組織改正と、「世話人会」の設置。 4 連携・協働事業の実施 関連団体とのネットワーク強化のための研修会等の実施 (連携先：北区災害ボランティアコーディネーター連絡会、食育ボランティア、県地域女性団体連絡協議会、浜松市男女共同参画センター、三遠南信アミ 等) 5 NPO法人の調査研究事業(視察研修1回、研修会2回実施)	110,121 (40,000)	地域コミュニティの活性化や区内の一体感の醸成に大いに寄与していると評価でき、その積極的な取り組みは区内の他団体の模範となるものである。 また、会員の高齢化等による弱体化が懸念される他区の女性団体の課題解決のための指針ともなり得る。 今後は、団体の自立を目指すなかで更なる組織強化を進めながら、事業を継続されることを期待する。
3 三ヶ日母親クラブ活動事業	三ヶ日母親クラブ	① 親子社会見学 ② 母親リフレッシュ教室 ③ 親子ハイキング ④ 地域の皆さんとのもちつき大会	① 少子化の中での親子仲間作り ② 母親同志の情報交換 ③ 核家族が増える中、地域の方々とのおふれあい	1 親子社会見学(消防署の見学) ① 実施日 11月3日 ② 参加者 保護者7名、児童等13名 2 母親リフレッシュ教室(洋裁講座、ヨガ教室、伝承あそびの実施) ① 実施日 8月9日、10月7日、3月29日 ② 参加者 保護者31名、児童等29名 3 親子ハイキング(浜名湖岸のハイキング) ① 実施日 9月18日 ② 参加者 保護者4名、児童等10名 4 地域の皆さんとのもちつき大会(三ヶ日児童館広場) ① 実施日 2月26日 ② 参加者 保護者10名、児童等20名、地域住民30名	25,759 (12,000)	核家族化が進むなか、親子間・母親間の交流や児童福祉の向上に寄与していると認められる。 一方、事業への参加者数や事業規模、実施地域が限定されていることから、他の子育て支援事業との連携による実施や、自立した事業としての継続が求められる。
4 伝統芸能継承活動及び後継者育成活動	横尾歌舞伎文化財少年団	① 定期公演にむけて6月から定期的に稽古を行う。 ② 保存会師匠のほか、演技・化粧・義太夫・床山・着付け等の指導をサポートする。 ③ 外部講師を招き、より充実した芝居指導を行う。	① 毎年10月第2土、日曜日に予定する定期公演が可能となる。 ② その他上演依頼への積極的な参加が可能となる。	1 「横尾歌舞伎こども教室」の開催 延べ82回、参加者15名 (三味線教室36回、歌舞伎教室27回、三番叟教室19回) 2 外部講師による「振付け・着付け・義太夫教室」の開催 10回 3 「横尾歌舞伎定期公演」への出演 10月8~9日 参加者15名 4 「横尾歌舞伎特別公演」への出演 2月5日 参加者15名	924,000 (339,000)	市を代表する伝統芸能を継承しようとする地域の少年・少女を支援する事業であり必要性は高いが、事業の実施により、どの程度の後継者の育成がなされたのかを検証する必要がある。 また、北区にとって重要な事業であるため、団体の自主財源の確保や他の伝統芸能等を含めた全市的な支援の方向性を調整する必要がある。 なお、これらの取り組みは、地域の子どもや若者の健全育成に寄与したとして、平成23年度の「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」の子ども・若者育成支援部門で、内閣府特命担当大臣表彰の受賞に繋がっている。
5 “浜名湖の風に乗って”サマーコンサート	まきの木コーラス	合唱団体及び「三ヶ日ウインド(プラスアンサンブル)」による入場無料のコンサートを開催する。	構成員は、20代から80代と幅広い年齢層で、生涯にわたって生き生きと学ぶ姿や、浜松の中心地から離れているところでも“音楽の街浜松”を実感できる催しと成り得る。	1 サマーコンサートの開催 ① 開催日 平成23年7月24日(日) 13:00~16:00 ② 会場 三ヶ日文化ホール ③ 出演 浜松市内を中心に活動する合唱団体6団体、吹奏楽団体1団体(計124人) ④ 来場者 約450人 2 サマーコンサートの準備 ・4月下旬~7月中旬 準備・計画 ・7月23日(土) リハーサル ・7月24日(日) 会場準備(午前)	404,044 (160,000)	地域の音楽活動や団体間の交流がなされたものと評価するが、年1回のみの実施や入場無料での実施には疑問が残る。 活動機会と出演団体の拡大や、有料化による自主事業としての実施も検討されたい。

事業名	提案者・事業実施者	事業内容	事業効果	事業実施状況	総事業費 (補助金額)	事後評価	
6	遠江のひよんどりとおくないネットワーク	遠江のひよんどりとおくない連絡協議会	重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」の様子が参観者に分かるような解説書の作成。 寺野、川名、懐山に加えて、滝沢、東久留女木の事例も加えて、写真や図版を入れたビジュアルな解説書を作成する。	① 豊かな歴史と文化を継承してきた喜びを再確認すると共に、未来に向けて前向きな地域づくりを目指すことができる。 ② 一つの浜松市に向けて市民が一体感を醸成することができる。	1 「遠江のひよんどりとおくない」のガイドブック500部を作成。 2 ガイドブックを図書館、関係小中学校、保存会等に配布。 3 作成にあたり、関係者による編集委員会を12回開催。	717,600 (287,000)	団体間の交流促進や伝統民俗芸能の調査研究・保存に寄与したものと評価する。 今後は、作成したガイドブックの教材等への効果的な活用や、より多くの市民へ配布するための自主的な増刷等を期待する。
7	郷土研究史料と郷土重要古文書のまとめと公開	郷土を語る会	① 既刊の郷土研究資料を整理し、刊行する。 ② 郷土重要古文書をコピーにより複製・整理し、公開する。	広く市民が郷土の歴史・文化に対して理解を深め、愛郷心を持つことができる。	1 郷土研究資料「郷土」の刊行・配布 「広報みっかび」や「JAみっかびくみあいだより」等に掲載されたものを整理し、一冊の本にまとめ刊行し、市内図書館、県立図書館、町内小中高校等に寄贈した。 ① 仕様 A-4版、表紙4色刷・中面白黒刷、全180ページ ② 作成部数 400部 2 郷土重要古文書「浜名記」の作成・公開 郷土重要古文書である「浜名古代領主記」や「浜名記上中下」を複製し、図書館等において広く一般に公開した。また、文化祭において展示紹介した。 ① 仕様 A-4版 白黒刷 全105ページ ② 作成部数 10部	400,000 (200,000)	地域の歴史的史料や古文書の保存・伝承に寄与したものと評価する。 今後は、史料等のより多くの市民への公開や、史料等の効果的な活用による活動の継続を期待する。
8	いにしえの町細江物語ガイドブック制作	いにしえのまちづくりの会	細江町時代に作成した33箇所もの切り絵の看板と新たに制作した切り絵を、地図と説明を編集しガイドブックにまとめる。	① 学校での地域学習や夏休みの自由研究に利用できる。 ② 細江の町の散策ガイドブックとして歴史と文化を学ぶことができる。	1 細江に伝わる物語等の切り絵の看板等のガイドブックを作成した。 ① 仕様 A-4版、4色刷、全44ページ ② 作成部数 500部 2 ガイドブックの配布 配布先 図書館、関係小中学校、細江地区生涯学習関係者、ボランティアガイド等	160,000 (80,000)	地域の魅力の発信や地域学習の素材を提供したものと評価する。 今後は、作成したガイドブックの教材等への効果的な活用や、より多くの市民へ配布するための自主的な増刷等を期待する。
9	姫街道 気賀宿場クイズ散策とセミナー	姫街道連絡協議会姫街道未来塾	① クイズ散策とセミナーの開催。(想定参加者100人程度) ② 散策コースの策定 ③ 姫街道瓦版の発行(年4回)	① 散策コースを地域ウォーキングコースとして、その後も各施設・各団体で利用できるようにすることで、ガイドに頼らず自分で見つける楽しさと地域のいやしを感じることができる。 ② 姫街道の情報を発信して、街道文化に関心を持つことが出来る。	1 クイズ散策とセミナーの開催 ① 開催日 平成23年10月29日 ② 参加者 60人 ③ 実施内容 ・クイズを出題しながらの姫街道と史跡めぐりのウォーキングの開催 ・歩いたコースをスライドで説明するセミナーの開催 2 散策コースの策定 寸座コース、西気賀コース、気賀宿コース、陣座ヶ谷コースを設定した。 3 姫街道瓦版の発行(6月、9月、12月、3月の計4回発行) 発行部数 5,000部	600,000 (240,000)	新たな手法により姫街道の散策コースを作成し、街道文化の情報発信や関心の向上に寄与したものと評価する。 今後は、自主財源を確保するなかで、市内の他区や観光協会等の関連団体の連携により、姫街道の認知度向上のための取組みを期待する。
10	浜松市細江市民第49回文化祭芸能発表会&展示発表会	浜松市細江文化協会	① 芸能発表会の開催 成23年11月3日(木・祝) ② 展示発表会の開催 成24年2月4日(土)~5日(日)	① 文化協会会員芸能や展示作品のみならず、多くの市民の参加が見込まれ、協会員の作品各自の発表による相互理解、市民交流の推進が望める。 ② 地域文化の振興と細江方式による市民協働が大いに図られる。	市民に文化芸術活動の発表の場、展示発表の場を提供し、日頃取り組んでいる活動の成果の場として活用、芸能、展示の発表を通じた交流の中で、地域文化の振興を図った。 1 芸能発表会 ① 開催日 平成23年11月3日(祝・木) ② 会場 みをつくし文化センター ③ 内容 協会員による発表、幼稚園・保育園・細江中学校・市民サークルによる発表 2 展示発表会 ① 開催日 平成24年2月4日(土)~2月5日(日) ② 会場 みをつくし文化センター ③ 内容 協会員による展示発表、女性団体・高齢者団体・高齢者施設・市民個人展示発表、お茶席の開催等	292,000 (116,000)	細江地域の文化団体の成果発表の場として、地域文化の振興と交流促進に寄与したものと評価する。 各地域の文化協会による類似の文化祭が行われているが、区としての取扱いの統一や、区企画事業により実施した「北区文化交流祭事業」との関係を整理する必要がある。また、自主財源の確保による自立した事業としての継続が求められる。

事業名		提案者・事業実施者	事業内容	事業効果	事業実施状況	総事業費 (補助金額)	事後評価
11	第6回みかんの里まつり	みかんの里まつり実行委員会	① 「三ヶ日フレグランス・ウォーク」の開催 5月7日(土)～8日(日) ② 「第6回みかんの里まつり(産業まつり、三ヶ日ウォーク)」の開催 10月30日(日)	① 農商工業者や地元住民が一堂に会してイベントをすすめることで、業種間の壁を取り除き、強く地元意識を感じ、地域コミュニティづくりができる。 ② 三ヶ日地域の複合的・多面的な価値を創出し、三ヶ日地域の特性である「日本一のみかんの里」を柱に、三ヶ日地域を広くPRすることができる。	ウォークを通じて三ヶ日地域の資源の有効活用や情報発信、三ヶ日特産のみかんのPRなどを行った。また、新東名のウォークや芸能発表、物産展なども行い、三ヶ日地域のみならず、幅広い分野での人的交流等が見受けられ、地域の活力あるまちづくりの推進が図られた。 1 三ヶ日フレグランスウォーク2011の開催 ① 開催日 5月7日(土)～8日(日) ② 参加者 延べ394人 (5月7日開催 ナイトウォーク123人、5月8日開催 レギュラーコース74人、ファミリーコース184人、ノルディックコース13人) 2 第6回みかんの里まつりの開催 ① 開催日 10月30日(日) ② 参加者 みかんの実る三ヶ日ウォーク 647人、産業まつり 約15,000人	2,491,434 (996,000)	地域の特色を活かしたイベントとして定着しており、来場者の好評も得られており、地域コミュニティの醸成や地域の魅力の発信に寄与していると認められる。 ただし、事業のうちウォークイベントは、参加費による実施している例もあることから、他の団体との整合を図る意味でも事業区分や経費の見直しが必要である。
12	宗良親王生誕七百周年記念市民シンポジウム 南北朝遠州騒乱の物語	NPO法人奥浜名湖観光まちづくりねっと	① 市民シンポジウムの開催 ② 宗良親王の足跡を訪ねるスタディトリップの開催 ③ 記念植樹の実施	① 宗良親王の生誕700年と浜松市制100周年が重なることから、南北朝時代からの遠州の大国「浜松」の歴史的存在感が再認識されることを期待する。 ② シンポジウムの開催により、宗良親王の逸話が多く残り、南朝側の歴史感を共有している三遠南信地域との交流に寄与する。 ③ 地域資源活用型旅行商品造成に活用し、「井の国語り部の会」等による宗良親王ガイドツアーの実施や浜名湖湖北五山の深度化に寄与する。	1 準備委員会の開催 実行委員会を5回開催 2 講座の開催 奥浜名湖語り部の会「宗良親王の生涯、時代背景」講座 2回開催(4月23日、5月21日) 3 シンポジウムの開催 10月22日 南北朝シンポジウム開催、参加250名 4 宗良親王スタディツアーの開催 11月18日 一般公募「宗良親王の足跡を訪ねよう!」スタディーツアーの開催 参加39名 5 記念植樹 スタディーツアーと同時開催とし、井伊谷宮へ記念樹を植樹。 6 解説看板設置 ガイドツアー促進のための解説版を2枚整備。	604,802 (300,000)	宗良親王の生誕700年に合わせて実施したことで、地域資源としての認知度の向上や、宗良親王を通じた地域間交流、研究による観光ボランティアの資質向上に寄与したことは評価できるが、具体的な効果の検証が必要である。 今後は、自主財源を確保するなかで、宗良親王を地域資源として活用し、地域振興に繋げる活動の継続を期待する。
13	若者の地域活動参画促進事業	ステキみっかび発見プロジェクト	① 映画の制作活動の事例発表・映画の上映 ② 参加者の意識調査・検証	① 地域活動の意識向上と参加を促すとともに、若者世代による議論の場を提供する。 ② 「住民参加・主導」のまちづくりを推進する上で、多面的多角的視野の自主活動により注目を浴びている「ステキみっかび発見プロジェクト」を先導役とし、多くの市民活動団体に「あるべき将来像」を創出共有する。 ③ 今後の新たな発想による地域社会を形成する契機とする。 ④ 若者による地域活動の先進事例として情報発信する。	若者世代(20～40歳代)の三ヶ日をテーマにした、地域活性短編映画2本を上映するとともに、映画スタッフと地域の若者によるパネルディスカッション等を行った。 その結果、北区在住の若者世代を中心に人的交流が図られたとともに、「若者による地域活動参画意識高揚」や、「活力ある地域づくりの普及」等につながったと考えられる。 ① 開催日 平成24年3月11日 ② 会場 三ヶ日いはなホール ③ 参加者数 178人	211,655 (105,000)	地域活動への参加が希薄になりつつある若者自らが企画し実施した事業として、また、若者世代の交流の契機になり得た事業として、大いに評価できるが、具体的な効果の検証が必要である。 今後は、自主財源を確保するなかで、参加者の意識調査結果を基とした今後の地域活動への波及や、若者の参画意識の向上へ繋がることを期待する。